

いち・にの・さんじん

原三信病院 広報誌

October 2006 NO.

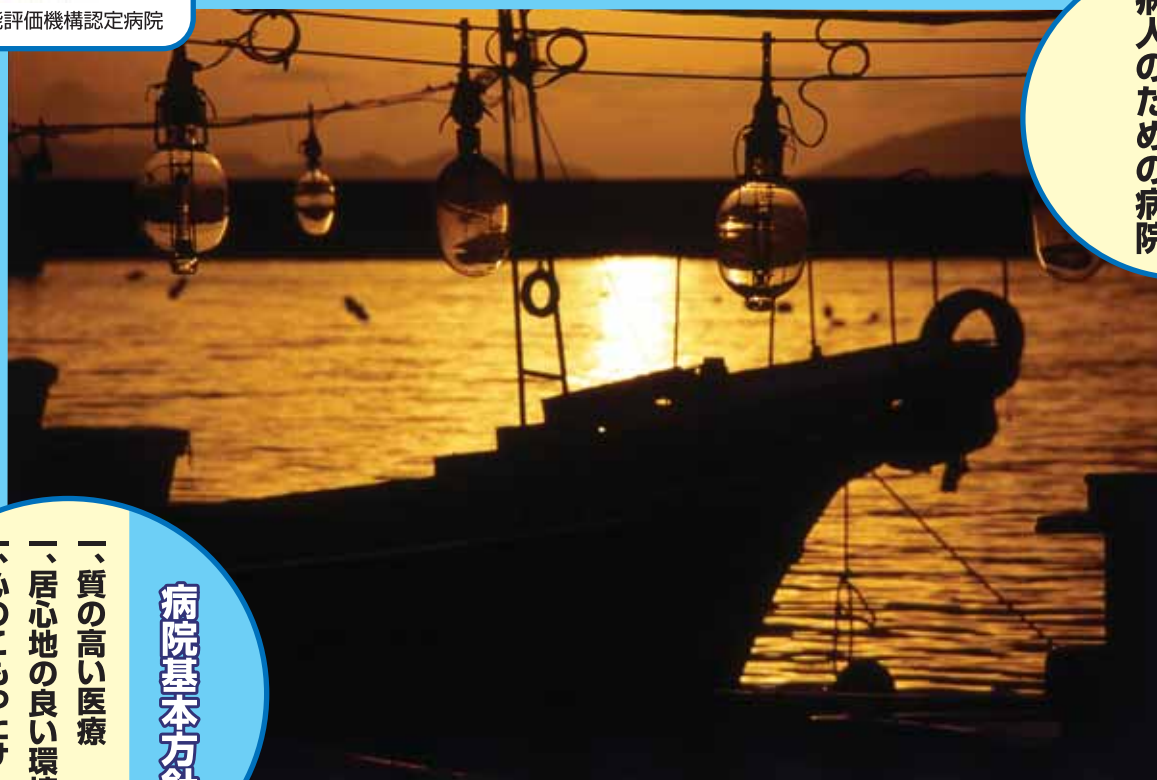
17



日本医療機能評価機構認定病院

病院理念

病人のための病院



作品：写真部提供（筒井玲子「秋の夕暮れ」）

病院基本方針

- 一、質の高い医療
- 一、居心地の良い環境
- 一、心のこもったサービス

医療の質の向上

事務部長 安武義泰

近年、「医療機関の評価」や「医療の質」等の記事やニュースを、頻繁に目にする機会が増えています。

では、「医療の質」とはどのようなことを求められているのでしょうか。一般的には医療の安全性や高い医療技術、均質な医療の提供、医療の説明性と透明性等が求められています。

「医療の安全性」は、医療が安全に行われるための仕組みや、問題が生じたときの影響を最小限に食い止める組織の整備などがあげられます。

「高い医療技術」は、その時代における平均水準以上の医療技術を提供できることが求められています。しかし、特定の科や一人の医師だけが高い医療技術を有しているのではなく、全病的に水準以上の医療を提供できることが大切です。

「均質な医療の提供」は、全ての患者様に対し提供される医療が均質でなければなりません。これは単に技術面だけではなく、提供される全てのサービスが良質かつ均質であることが大切です。

「医療の説明性と透明性」は、病気や治療方針に関する説明がきちんとなされているか、治療法の選択が患者様を交えた場で決められているか、また情報が医療提供者と患者様とで共有されているか等があげられます。また、透明性に関しては、特に隠し隔てなく患者様へ情報を提供できる体制が整備されていることが大切であると考えています。

以上のことを実現するために、これからも私たちは、地域の医療機関の先生方と共に患者様に満足していただける医療を追求し続けて参る所存です。今後ともお気づきの点がありましたら、ご助言、ご指導よろしくお願い申し上げます。



病院にゆ〜す

原三信泌尿器クリニック開院



お問い合わせ ☎ 092-283-5121

原三信病院の附属機関として、「原三信泌尿器クリニック」が、隣接の双和ビル2階に9月1日より開院しました。

療録(電子カルテ)はオンラインで結ばれており、患者様の経過や検査結果などの情報は両院で共有しております。

当院の泌尿器科は、待ち時間が長く患者様にご迷惑をおかけしておりますが、その解消法の一つとしてもクリニックを受診して頂けたらと思います。クリニックでは、レントゲン検査や膀胱鏡検査などはできませんが、本院とクリニックで役割を分担し診療を行っております。再来は予約制を取っておりますので、ご予約をされて受診してください。

詳しいことをお知りになりたい場合は、ご遠慮なく泌尿器科外来職員にお尋ねください。



原三信泌尿器クリニック院長

中牟田 誠一

医療ITプロジェクト

NST (Nutrition Support Team) 栄養サポートチームのご紹介

多くの専門職が

力を合わせて栄養管理を行う

栄養管理は完璧なはずの病院内で患者様が低栄養になるなんてこと、実はよくあるのです。とくに高齢の患者様では、入院前から食事が摂れなくなっている場合が多く、適切な栄養管理をしなければ病気や外傷、手術からの回復が遅れたり、感染などの合併症を引き起こします。けれども、入院された日に患者様の栄養状態を判断し、病気の治療方針とともに栄養管理法を決め、さらに家族や嗜好なども含めた患者様の生活背景を理解して最善の方向を探っていくことは医師一人ではできません。患者様を取りまくすべての専門職でそれを支援していくのがNST栄養サポートチームです。

欧米諸国では1980年代に普及していたようですが、日本でもようやく医療現場で注目されるようになりました。当院でも2年前から活動を始めています。医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士、事務職のメンバーで回診やミーティングを行います。

栄養摂取法の選択



NST委員会 田籠 祥子

薬のメモ知識

「目薬の使い方」

目薬を差した後に、口の中に苦味を感じたことはありませんか？目薬が鼻に向け、口の中に到達するためです。今回は、目薬の使い方についてお話ししたいと思います。目薬には大きく分けて点眼薬と眼軟膏があります。

① 点眼薬

1回の使用量は1滴で十分です。目の表面は非常に狭いので1度に何滴も差してもそのほとんどが流れ出てしまいます。点眼後は30秒程度、目を閉じたまま、目頭を軽く押さえて下さい。お薬が鼻に抜けるのを防ぐことで効果を高め、点眼後の苦味も防ぎます。

② 眼軟膏

点眼薬に比べてお薬の効果が長く続きます。人差し指でまぶたを引っ張り、まぶたの内側に軟膏を5〜10mm出します。まぶたを閉じ、軽くマッサージして軟膏を全体にのばします。使用後は霧がかかったようになりますが20〜30分すると治ります。霧がとれるまでは自動車の運転などは控えましょう。

使用時の注意事項

お薬が汚染されるのを防ぐために、容器の先端が目やまっげに触れないように注意して下さい。二種類以上の目薬を使用する時は、5分以上間隔を空けて使用し、点眼薬と眼軟膏を同時に使用する時は、先に点眼薬を使用して下さい。コンタクトレンズを使用している方は医師、薬剤師に相談しましょう。

薬剤科 内田 華奈子

職場紹介コーナー
手術室編

手術室と聞いて皆様はどのようなイメージをもたれますか？怖い冷たい等のイメージをもたれ、そこにいるスタッフに対しても怖い・厳しいなど同様のイメージがあると思います。原三信病院手術室スタッフは違います。若く・明るく・元気なスタッフばかりが揃っています。手術室は本館2階と地下に計8室あり、平均年齢26歳の看護師28名と看護助手2名、事務1名で平成17年度は4242件の手術を行いました。

外科は内視鏡手術に力を入れており、胆石症、鼠径ヘルニアは日帰り手術を行っています。今年の5月より、甲状腺や乳房の専門外来が開設され、手術件数が激増しています。

泌尿器科は1日多い時で20例弱程の手術を行っています。男性の不妊治療や尿失禁症をはじめ、泌尿器科領域の良性から悪性まで幅広い治療を行っています。尿路結石症では、無麻酔にて1時間程で終わる体外衝撃波碎石術から尿道より内視鏡カメラを挿入し、お腹に傷を作ることなく結石を取り出す治療を行っています。また日本でも数少ない、前立腺癌の高密度焦点式超音波療法(HIFU)や前立腺肥大症のより安全で確実に切除できるPVPレーザーなど、最新機器の導入も積極的に行っています。その他、整形外科や婦人科・循環器科・腎臓内科・消化器科・血液内科の手術も多く行っています。

私たち手術室スタッフは、麻酔導入により眠られている間も患者様の人権を尊重した周手術看護を提供致します。患者様が安心して安楽に安全な手術をお受けになり、1日も早く社会復帰なさることが私たち手術室スタッフ一同の願いです。



手術室科長 斎藤まゆみ

医学雑学講座

腰痛について〜整形外科編その③〜

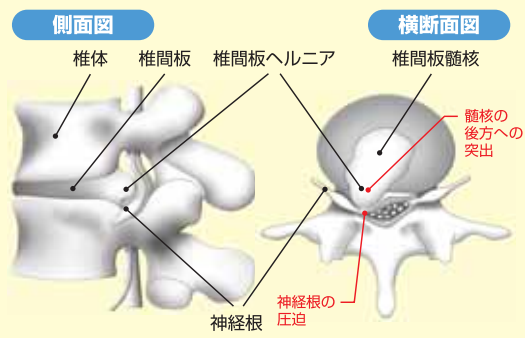
今回は腰の病気として非常にポピュラーな腰椎椎間板ヘルニアについて説明します。これは図のように変性した椎間板がつぶれる際に、中心にある「髄核」組織が後方に突出して神経根を圧迫し、下肢の神経痛(坐骨神経痛)を引き起こすものです。腰痛はなかつたり、あつても軽度のことが多いようです。初めぎっくり腰のような強い腰痛で発症し、数日のうちに腰痛が下肢の神経痛に変わってくるケースもあります。10歳代から、中高年まで幅広い年齢層に発症しますが、30〜40歳代の働き盛りに多い傾向があります。

軟骨の突出はレントゲンでは見えませんが、MRIにて確定診断しますが、その突出の程度はさまざまで、わずかな椎間板の膨隆程度から、脊柱管(神経組織の通るスペース)の半分以上の面積を占めるような大きなヘルニアまであります。

椎間板ヘルニアによる痛みは、ぎっくり腰とは違って長期間、強い痛みが続くこともあります。大部分は安静や投薬、リハビリ、ブロック療法などで軽減していきますが、進行性の神経麻痺(下肢の筋力低下)があったり、治療抵抗性の強い神経痛のために日常生活への障害が大きい場合は手術が必要になることもあります。

通常の観血的手術では、術後1週間弱のベッド上安静と、3・4週間摘出術を行なっています。この方法では、手術翌日からトイレ歩行ができ、順調に行けば術後1週間退院可能です。

次回、最終回は高齢者に頻度の高い「圧迫骨折」について説明します。



整形外科部長 高島 一雄



編集後記

当院では、9月より病院近隣に「原三信泌尿器クリニック」を開院しました。これによって泌尿器科における外来患者様の待ち時間が緩和されることを期待しております。これからも患者様の立場に立った医療をすすめて参ります。この広報誌に対する皆様のご意見も含め、意見箱などを通じお聞かせ頂ければ幸いです。

広報委員会 委員長 原 直彦

- 当院は、救急指定病院です。急患の患者様は救急外来にて**24時間365日診察**を行っています。
- 当院では医療機関の機能分担と地域連携を推進しています。従いまして、現在他の医療機関に受診中の方は**紹介状**をご持参下さいますようお願いいたします。



わが町のホームドクター



ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。※診療時間は各施設にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

施設名

田中医院




登録医 田中 公也

住所 福岡市博多区空港前3-9-1

電話番号 **092 (621) 4728**

診療科 胃腸科・内科・小児科

施設名

古川小児科内科医院




登録医 古川 洸

住所 福岡市博多区板付3丁目14-2

電話番号 **092 (572) 5955**

診療科 内科・小児科

施設名

松本内科循環器科医院




登録医 松本 守立

住所 福岡市東区唐原1丁目10-1

電話番号 **092 (671) 1233**

診療科 循環器科・小児科・消化器科・内科

施設名

吉田泌尿器科医院




登録医 吉田 隆

住所 筑紫野市二日市西1丁目4-7

電話番号 **092 (921) 6677**

診療科 泌尿器科・性病科

施設名

村上胃腸科内科クリニック




登録医 村上 学

住所 福岡市博多区諸岡1丁目19-12

電話番号 **092 (574) 4485**

診療科 胃腸科・内科

施設名

古原医院




登録医 古原 雅樹

住所 福岡市博多区比恵町8-1

電話番号 **092 (431) 5622**


診療科 アレルギー科・循環器科・小児科・内科・泌尿器科

※ここでご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度（医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる）の登録医になって頂いている先生です。

救急指定


原三信病院

日本医療機能評価機構認定病院



TEL **092 (291) 3434**
FAX **092 (291) 3424**
E-mail info@harasanshin.or.jp

福岡市博多区大博町1-8



<http://www.harasanshin.or.jp>

● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

● 診療科目

総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・糖尿病科・リウマチ科・外科・血液内科・腎臓内科・脳神経内科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック・睡眠呼吸障害センター